

配 慮 市 長 意 見 書

みなとみらい 2 1 中央地区 5 2 街区開発事業計画に係る計画段階配慮書に関する横浜市環境影響評価条例第 11 条第 1 項に規定する環境の保全の見地からの意見は、次のとおりです。

横浜市長 山 中 竹 春

事業の実施や環境影響評価手続の実施に当たっては、事業の内容及び地域特性を考慮し、以下に示す事項に十分留意した上で、必要に応じ、配慮の内容や事業計画の見直しを行ってください。

1 全般的事項

- (1) 今後の事業の進展においては、本市の最新の計画等と整合を図るなど、適時、適切な配慮内容となるよう努めてください。
- (2) 配慮事項に対する配慮の内容については、相互に密接に関連する複数の事項があることから、全体的な視点で引き続き検討してください。特に、アートガーデンやキング軸上の緑化計画の策定にあたっては、生物多様性への配慮、ヒートアイランド対策、風害対策、景観への配慮など、可能な限り各環境要素に対し効果的な計画となるよう検討してください。
- (3) 事業の計画、工事、供用の各段階において、周辺の住民、隣接街区等の事業者及び小学校関係者等とのコミュニケーションを図り、積極的な情報提供や丁寧な説明に努めてください。
- (4) 第 2 分類事業判定届出書以降の図書作成にあたっては、正確で分かりやすい内容となるようにしてください。

2 配慮指針に掲げられている配慮事項

【配慮指針 別記 事業別の配慮事項「8 高層建築物の建設」】

- (1) 周辺環境への影響、生物の生息生育環境の保全や温暖化対策への配慮【配慮事項(1)】
生物生息環境の確保については、各地で様々な取り組みが行われています。アートガーデン等の緑の創出に当たっては、各地の取り組みを参考にして、緑の質、配

置等、生物生息環境の確保に向けた先進的な事例となることを目指し、計画策定に取り組んでください。

(2) 環境資源等の現況把握【配慮事項(2)】

隣接する 53 街区の環境アセスメント関係資料を有効に活用し、より周辺環境に配慮した事業計画となるよう努めてください。

(3) グリーンインフラの保全と活用、健全な水循環の創出【配慮事項(5)】

キング軸の緑化では、グランモール公園等の事例を参考にしながら検討してください。特に、水辺を作る際には、雨水の流出抑制に配慮した環境創出を検討してください。

(4) 緑化等による生物の生息生育空間の確保と生物多様性の保全と創造【配慮事項(6)】

ア 小川については、単純に水を流すということではなく、流水域や止水域といった変化や水際の植栽を工夫する等、生物多様性に配慮した計画を検討してください。

イ 周辺の高島水際線公園、臨港パーク及び高島中央公園等との生き物の移動に関する既存のネットワークを把握し、生物多様性に配慮した環境作りを検討してください。

(5) エネルギー使用の合理化、再生可能エネルギー等の活用【配慮事項(7)】

最善技術、製品の採用やエネルギー使用量を把握し、適宜運用改善を図るようにしてください。

(6) 低炭素電気の選択、グリーン購入【配慮事項(8)】

低炭素電気の選択も含め建物全体の運用時の温室効果ガス低減対策を包括的に含むエネルギーマネジメント計画を検討してください。

(7) 運輸部門における二酸化炭素の排出抑制【配慮事項(9)】

掘削土等の運搬に伴う温室効果ガスの排出量を低減するため、掘削土等は可能な限り発生を抑制したうえで、近隣の建設工事現場での使用を検討してください。

(8) ヒートアイランド現象の抑制【配慮事項(11)】

ア ヒートアイランド対策効果が期待できるような屋上緑化や壁面緑化も検討してください。

イ 新設する地域冷暖房プラントによる排熱、温室効果ガスを含む排ガス等に十分配慮する計画を検討してください。

(9) 周辺建物との連続性、後背地との調和【配慮事項(12)】

動物への配慮も含めて、建物壁面の分節化や壁面緑化の採用、外観の色彩やデザイン上の工夫により、更なる圧迫感の低減に努めてください。

(10) 交通集中の回避、歩行者の安全・利便性への配慮【配慮事項(14)】

歩行者のウォーカビリティの観点から、1階レベルと2階レベルの移動のしや

すさ等、立体的な歩行者ネットワークに配慮した計画を検討してください。

(11) 風害等への配慮【配慮事項(15)】

計画地周辺における建築計画も考慮し、日影や風害、電波障害等の対策を検討するとともに、日中の反射光についても考慮した計画としてください。

(12) 廃棄物等の発生抑制、再利用及び再生利用【配慮事項(17)】

掘削土等の運搬に伴う温室効果ガスの排出量を低減するため、掘削土等は可能な限り発生を抑制したうえで、近隣の建設工事現場での使用を検討してください。

【(7) の再掲】

(13) 地震、液状化等に対する安全性の検討【配慮事項(18)】

ア ボーリング調査のデータから、液状化の判定を行ってください。

イ 計画区域周辺と一体的な防災機能の整備に努めてください。

以上